**第４７回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和２年１１月２５日（水）１７時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市民会館　２階　小会議室 |
| 出席者 | （部会長）　神谷博達  （副部会長）安宅錦也  （部会員）　合田美津子、磯田大治、大坂倫一  （庁内委員）近藤正嗣、重山大介  （事務局）　大越智輝、佐々木健、安倍一葉 |
| 欠席者 | （部会員）　仲川弘誓、佐藤文子 |
| 議題 | 虐待防止セミナー  絵本の読み聞かせについて |
| 配布資料 | 第４７回育み部会参考資料（部会長作成）  絵本の読み聞かせ企画書たたき台②（部会長作成） |

１　会議の要点

（１）虐待防止セミナー

　・保健福祉部こども家庭グループこども相談室今野主査より「児童虐待と地域での対応について」をテーマに、児童虐待の現状や問題点、児童相談所及びこども相談室の役割、通告を受けたときの対応、地域の方々にお願いしたいこと等について講話があった。

（２）絵本の読み聞かせについて

○アーニス（読み聞かせ予定場所）を見学して

　・スペースは２つあり、

①開放的な空間のレンタルスペース

②囲まれた落ち着いた空間のミーティングスペース

　・じゅうたんやテーブル、椅子等さまざまな物品の借用が可能。

　（１１月４日に行ったアーニスの見学の際、田中事務局長より）

　・すでに読み聞かせを行っている団体がある。

　・館内アナウンスにより数人は集まる。

　・読み聞かせに集中できない子もおり、遊び道具があると良い。

　・自分で選んだ本を読んでもらいたい子や自分で読みたい子もおり、さまざま。

　○取組みの内容、目的

　・市立図書館に拠点をおく数団体、のぼりんの子育てサークル、郷土資料館の団体が活動の中で既に読み聞かせのようなことをやっている。

　・アーニスで既に読み聞かせを行っている団体があるのであれば、同じ活動を実施するのではなく、他団体が活動している中で不便に感じていることを補完したり、一緒に活動をしたりしていく方が良いのではないか。

　・アーニスで既に読み聞かせを行っている団体は、読み聞かせというより、鳴り物を使用したりしていて、劇を見ているような印象を受けた。

　・前提として、絵本の読み聞かせに関心にある人は多くない。活動を実施するなら、他団体と連携するか、他団体とは違うものを実施した方がよい。

　・まずは本が読める環境を整え、次にそこに来たお母さんたちから話を聞いてニーズ調査を行い、さらにその環境を整えていくという形がいいのではないか。

　・新たに絵本の読み聞かせ団体をつくるのではなく、既に活動している団体のサポートをしていくというのは良いと思う。アーニスで既に読み聞かせを行っている団体には松山氏が参画していると思うので、まずは当該団体にお話を伺いたい。

・読み聞かせ等の活動は狭い領域でやっているため、各団体自身も課題を把握していない場合もある。各団体と対話をする中で、市全体の課題も発見できるかもしれない。理想と現実のギャップからどう活動を展開していくか考えるという流れもあると思う。

・育み部会としては、アーニスという場を提案できるし、図書館まつりの参加団体とまちライブラリー等新規の活動団体をつなぐ場とすることもできる。

・図書館という限られた空間だけでなく、アーニスという開かれた空間での新しい繋がりが期待できる。

・アーニスで活動するとなると、幌別地区という限られた地域になってしまいがち。

２　次回について

　　日時：令和２年１２月２３日（水）１７：３０～

　　内容：本を読むことを広めるための取組みについて